

令和5年9月27日

保護者 様

八代市教育委員会
八千把小学校
校長 中嶋 陽一

学校給食従事者がノロウイルスに感染した場合の給食の対応について

日頃から本校の学校運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、毎年冬季に流行いたします感染性胃腸炎の原因であるノロウイルスは非常に感染力が強く、全国的にも学校給食による集団食中毒の原因となっています。

そこで、八代市教育委員会では、子どもの安全を第一に、学校給食従事者がノロウイルスに感染した場合、必要に応じて、学校給食を中止、又は簡易給食への切り替えを行うこととしております。

ノロウイルスは感染力が非常に強いいため、場合によっては、調理場の従事者全員の検便検査を行う必要があります。

学校給食法では、ノロウイルスを保有していないことが確認されるまでの間、食品に直接触れる調理作業を控えさせることとなっており、検査結果が判明するまで、検査機関への検便提出日を含め2日間から6日間程度かかります。

従いまして、学校給食が中止、又は簡易給食になった場合は、翌日からしばらくの間は弁当対応になります。

その際は、たいへんご迷惑をおかけすることとなりますが、子どもの安全を優先した措置であることをご理解いただき、予め、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

なお、学校給食従事者は、日頃から、感染しないよう人一倍、健康管理等には、気をつけておりますが、完全にウイルス感染を予防することはできません。遺憾にも感染が確認された際は、ウイルスの特性をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

★ノロウイルスは直径およそ38ナノメートルという小さな球体のウイルスで、ごく少量でも感染し、抵抗力の弱い高齢者や幼児が感染すると重症化する危険があります。感染すると1～2日の潜伏期間を経た後、吐き気、嘔吐、下痢、発熱（38度以下）などの症状が現れ、症状は1～3日で治まりますが、便には2週間以上ウイルスが排出されるといわれており、このウイルスによる感染性胃腸炎が例年11月から3月に流行し、学校給食での集団食中毒の原因となっています。